

<ご意見の原文>

番号	ご意見及びその理由	検討結果の 一覧対応No.
1	<p>・空き家の取得や改修等に対する支援はとても良いと感じるが、移住後すぐに空き家を取得するのはリスクが高い。支援対象を移住後5年以内とするなど、『まずアパートに住み生活基盤を整えたあとで空き家を取得するケース』でも支援対象となるよう、支援策の拡充をするとより効果があると考えます。</p> <p>・アパートを借りる際の初期費用が高く、移住者にとって移住のハードル上げている。初期費用補助の拡充をお願いしたい。</p> <p>・外国人が住める市内中心部の住居が非常に限られる。就労ビザで日本に滞在している外国人の多くは運転免許を取得していないため、彼・彼女らが契約できる住居の拡充が必要と考える。</p> <p>・地元出身ではない20代の移住者向けの施策が薄いように感じる。需要の掘り起こしから始め、ぜひ検討をお願いしたい。</p>	1 2 3 4
2	<p>初めに別紙2にある「策定の主なポイント」に明示された、「『丁度よい田舎』という暮らしの場としての魅力がある。」ことについて、これだけ広大な市域を抱えることから、二つのブロックに大別され、それは旧高山市、一之宮町、入荷穂町、国府町の4つのエリアと飛び地であるその他の6つ支所エリアである。そのため、「丁度よい田舎」という概念は高山市において、前述するとおり、「異なる、二つの丁度よい田舎」として書き換える必然性が明確であり、策提案の見直しを求める。</p> <p>なぜならば、上記した、二つのブロックにおける生活による社会インフラを軸にした状況はあまりに格差がある現実を捉えることはあきらかでもある。『しあわせ』な暮らしが移住者を呼び込むとする基本方針においても、しあわせ度合は移住者それぞれで異なるものの、適正なる情報発信のためにも本当地域ごとの状態を伝える必要がある。</p> <p>次に、見直し後案に示される別紙3より、「移住後の充実した暮らしに向けた支援」について、これまでも語られたと思うこととでもありますが、あらためて、地域ごとの慣習での町内会への加入や関わりに基づく、地縁による義務化される最低限度の関係について、地域情報を適切に伝えること、さらに、地縁団体等に対して、行政から移住に対する、緩やかかつ優しい関わりにより、慣れさせることを強く要請する役割が行政支援として明確に表示されることを求める。つまり、地域に慣れ切れていない移住者に、後は自主的に任せするというところからの脱却が、必要であると判断できるからでもある。</p> <p>最後に、「移住者にとって、いい環境をつくりましょう。」とする原点における、行政機関としての役割は当該戦略において示されることは重要であります。このいい環境をつくるには、現場である移住先での住民との係わりと関係性に融和と心地よい接点が必要であることは、今更ながら意見することではないものの、あらためて「移住者が住み慣れて、住みやすくなるいい環境を気づき上げる」ためにも、この戦略の策定における、現場たる移住先での地縁関係を地元地域の力強い協働性を以って進める必要性を計画に加えて頂くべきである。</p> <p>特に、始めに意見記述の中にある、二つのブロックエリアの内、6つの支所エリ</p>	5 6 7 8

	<p>アを抱えるところに集中的な対応策を示されたい。</p> <p>なお、策定書について、次の別紙を別紙 4 として補充されることを求める。</p> <p>その補充資料は、令和 5 年度の実績移住者数の市内分布図である、高山市全域津図を利用して、移住地域に●記でベンチマークをして、このマーク脇にはその人数を数値で表示することで、移住先の偏在性などを把握することができるし、どこを移住先とした意向把握による傾向性を含めた施策対処が見える化できるためである。</p>	
3	<p>一言に移住定住戦略といっても、目標やどのような人間を具体的にターゲットにしているか等今一度考える必要があると考えます。</p> <p>例えば、移住者数目標値の 500 人はどこから算出した人数で、適当な数値であるのか。</p> <p>500 人増えればなにかが改善するのか。または、何かを改善するために 500 人を掲げるのか。と、その根拠。</p> <p>半数が U ターンであることから最も効率よく移住定住が可能であると仮定したとき、具体的な作戦を練るうえで、年代別の流出と U ターン数を確認すべきだと考えます。</p> <p>U/I/J どのカテゴリが最も効果を上げれそうか。また、上げるべきかを検討し優先度や力の入れ具合をある程度決めるとよいと考えます。</p> <p>&gt;ターゲットによって策を宛がう。</p> <p>ex：保育園への転園、小中学校への転校付きの場合、○○。出産前や出産直後等。 →早期のターンを啓発。</p> <p>ex：女性の場合○○。 →ターン後の婚姻数増加を目論む。</p> <p>ex：ターン後各種団体（町内会や各種専門団体）への入会で○○。 →既存組織自体の持続性向上、ターン者のより速やかな適応に寄与。</p> <p>○○は wi-fi 環境整備やネット使用料期間限定無料など、地味にうれしい補助。</p>	9 10 11 12